



ヤゴは何を食べるの

カの幼虫やイトミミズなど

トンボの幼虫のヤゴは、肉食です。小さなイトトンボの仲間は、ミジンコやユスリカの幼虫などを食べます。大きなヤンマの仲間は、イトミミズ、カゲロウ、カワゲラ、おたまじゃくし、小魚などをとらえて食べます。

ジェット噴射で泳ぐ

トンボの幼虫であるヤゴは、足で水底をはいまわり、ときには、こう門から水をふき出し、ロケットが飛ぶように泳ぎます。

口は、下側のくちびるが大きく発達しています。頭の下半分は、ほとんどが、この下くちびるです。

えさが近寄ってくると、この下くちびるを、さっとのばして、くちびるの先で、えものをはさみ、つかまえます。

成虫になるのに1～3年

たいていのトンボは、1～3年でヤゴから成虫になります。水温が低いか高いかや、えさが多いか少ないか、などでも、成長のスピードがちがいます。オニヤンマでは、2～5年かかるといわれています。ムカシトンボでは、6～8年もかかります。

(監修・中山 周平)

